

総領事館便り9月号

★新型コロナウイルス感染症に関する新たな水際対策措置（出国前検査陰性証明保持の見直し）

8月25日付けで、新型コロナウイルス感染症に関する水際措置の見直しの詳細が発表されました。なお、新型コロナウイルスの拡大状況によって水際措置は変更となることがありますので、帰国前には最新の情報に注意してください。

9月7日午前0時（日本時間）以降、有効なワクチン接種証明書を保持している全ての帰国者・入国者については、出国前72時間以内の検査証明の提出を求めないこととします。この場合、有効なワクチンとは、以下のとおりです。

1. 2回目までに接種したワクチン

- (1) コミナティ (COMIRNATY) 筋注／ファイザー (Pfizer)
- (2) バキサゼブリア (Vaxzevria) 筋注／アストラゼネカ (AstraZeneca)
- (3) スパイクバックス (Spikevax) 筋注／モデルナ (Moderna)
- (4) ジェコビデン (JCOVDEN) 筋注／ヤンセン (Janssen)
- (5) COVAXIN / バーラト・バイオテック (Bharat Biotech)
- (6) ヌバキソビッド (Nuvaxovid) 筋注／ノババックス (Novavax)

2. 3回目以降に接種したワクチン

- (1) コミナティ (COMIRNATY) 筋注／ファイザー (Pfizer)
- (2) スパイクバックス (Spikevax) 筋注／モデルナ (Moderna)
- (3) ヌバキソビッド (Nuvaxovid) 筋注／ノババックス (Novavax)
- (4) バキサゼブリア (Vaxzevria) 筋注／アストラゼネカ (AstraZeneca)
- (5) ジェコビデン (JCOVDEN) 筋注／ヤンセン (Janssen)
- (6) COVAXIN / バーラト・バイオテック (Bharat Biotech)

詳細については外務省海外安全ホームページをご確認ください。

別紙「水際対策強化に係る新たな措置（31）」

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdf2/0825_31.pdf

★東ジャワ州高校・高等専門学校での日本文化紹介

当館では、東ジャワ州等管轄地域にある高校や高等専門学校を訪問し、国費留学制度や浴衣着付け体験をはじめとした日本文化紹介を実施しています。2018年に行われた国際交流基金の調査では、インドネシアの日本語学習者数は中国に次いで第2

位で約75万人の日本語学習者がおり、中でも東ジャワ州の日本語学習者数は西ジャワ州に次いで2位で、特に中高生の日本語学習者が多い地域です。また東ジャワ州には国立・私立含め6大学に日本学科があり、多くの学生が日本語を熱心に学んでいます。日本のアニメを見て育ち日本に関心を持って勉強を始めた生徒が多く、留学や技能実習等の機会を通じて実際に日本への渡航を希望している生徒も多くいます。

8月23日、24日及び31日には、ブリタール第一国立高校（ブリタール市）、ボヨラング第一国立高校（トゥルンアゲン県）、ワトゥリモ第一国立高等専門学校（トゥルンガレック県）及びプログレシブ・ブミ・シャラワット高校（シドアルジョ県）を訪問しました。当館では引き続き、東ジャワ州を含む管轄地域における日本語教育推進に努めていく考えです。



（プログレシブ・ブミ・シャラワット高校）



（ワトゥリモ第一国立高等専門学校）



★国際交流基金巡回展「妖怪大行進：日本の異形のものたち」の開催

7月13日から8月2日までの約3週間にわたり、“1945年11月10日大学”（スラバヤ工科大学／ITS）にて、国際交流基金巡回展「妖怪大行進：日本の異形のものたち」が開催されました。この期間、インドネシアの学生や一般市民、在留邦人の皆さまを含めた1,274名の方に御来場いただき、盛況のうちに終了しました。

この巡回展に合わせ、主にインドネシアの学生や一般市民を対象とした日本文化紹介・教育広報のサイドイベントとして、日本長編アニメーション映画「ミヨリの森」を上映しました。また、日本思想の専門家をお招きし「妖怪トークショー」を行った他、「日本留学相談会」も開催しました。

トークショーでは、参加者より、日本の妖怪文化、芸術への理解が深まったとの感想を多くいただきました。また、日本留学相談会でも多くの質問をいただく等、学生らの日本への関心の高さを実感しました。当館では、引き続きインドネシアでの対日理解促進と日本語教育普及のためのさまざまな活動を実施していきます。



（妖怪トークショー）



（日本留学相談会）

（了）